

(仮) 姥ヶ懐トンネル便り

安藤ハザマ・橋本店・上の組 JV

No.5



ごあいさつ
 志賀地区及び姥ヶ懐地区にお住まいの皆様、安藤ハザマ・橋本店・上の組JV、姥ヶ懐トンネル作業所長の西川です。暖かかったり寒かったりで、春の到来まではあともう少しといった日が続いています。雪が降っても雨が降っても、トンネル工事は問題なく前に進んでおります。今月も工事の進捗状況についてご報告させていただきます。現在、掘削は岩沼側坑口から約540m（全長1,285m）の所を掘っています。トンネルの下部（皆様が、車で走る道路の下の部分）にあたる『インパート』も、現在313m完了。トンネルの最終仕上がりにあたる『覆工コンクリート工』も着々と前に進み、現在110m完了しています。皆様にトンネルを通っていただいた時に、キレイな仕上がりを見ていただけるように、作業所メンバー一同、日々取り組んでおります。今後とも御協力どうぞよろしくお願い致します。先月は『インパート工』の流れをご説明させていただきましたが、今月は、『防水工・覆工コンクリート』の流れについてご紹介したいと思います。

防水工・覆工の流れ

シート台車
防水シートを貼るために使う、移動足場です。

防水シート施工状況(シートの溶着)

防水シート完了
道路に山からの水が落ちるのを防止するためトンネルの裏側に防水シートを貼ります。

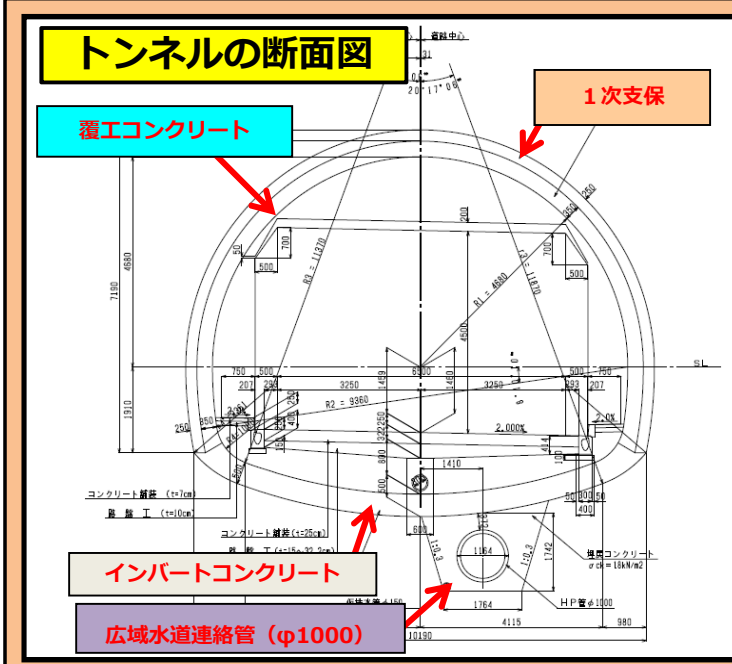
スライドセントル
覆工コンクリートを流し込むための移動式型枠兼足場です。

覆工コンクリート完了
10.5m毎に、コンクリートの打設を行い、2日1回、スライドセントルを前に進めていきます。その結果、1ヶ月で11.5m程度施工を行うことができます。

トンネル坑内にセットしたスライドセントルと防水シートの間にコンクリートを流しこんで充填します。コンクリートが硬化して所定の強度に達したら、セントルを前に移動します。

覆工コンクリート打設状況

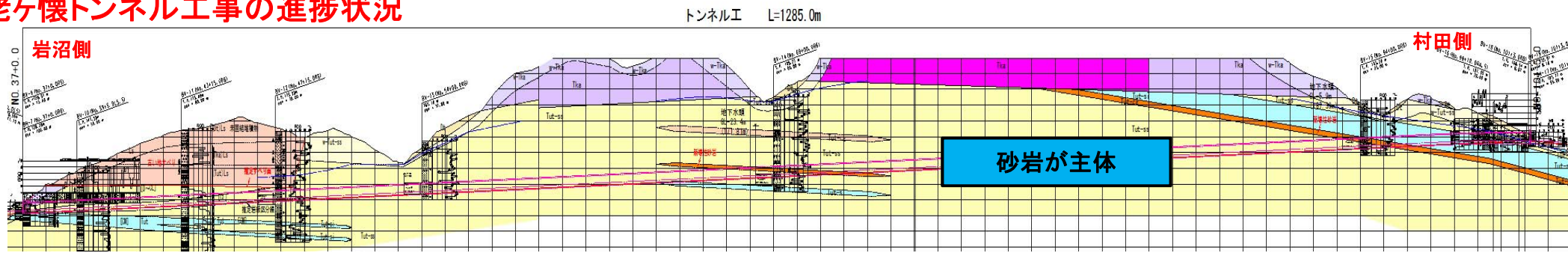
保温するためにセントルを養生バルーンで覆います。



トンネルの構造は、『1次支保』、『インパート』、『覆工コンクリート』に分けることができます。本工事では、インパート下部に水道管を通すための『送水管』が入ります。



(仮) 姥ヶ懐トンネル工事の進捗状況



| | | | |
|--------|-------|------------|-------|
| 施工延長 | ← 岩沼側 | 延長 1,285 m | 村田側 → |
| 掘削工 | | 540 m 完了 | |
| インパート工 | | 313 m 完了 | |
| 防水工 | | 150 m 完了 | |
| 覆工 | | 110 m 完了 | |
| 舗装工 | | | |

掘削は、岩沼側から村田に向かって、1日に4~5m程度のペースで掘り進めています。又、インパート工及び覆工コンクリートも、1週間に約20~30mのペースで進んでいます。

お知らせ
 12月1日から、(仮)姥ヶ懐トンネル工事のホームページを立ち上げました。アドレスは以下です。
<http://ubagafutokoro-t.com/>
 工事の進捗状況やTOPICSを掲載していますので、皆様にもみていただければ、幸いです。どうぞよろしくお願い致します。

〒989-2465
 宮城県岩沼市志賀新四十刈1
 安藤ハザマ・橋本店・上の組 特定建設工事共同企業体
 姥ヶ懐トンネル作業所
 TEL 0223-25-4755 FAX 0223-23-3998
 フリーダイヤル 0120-034-755
 作業所長 西川 篤哉